

じん けん そん ちょう
人権尊重を

しっているからしているへ



わたし だれ しあわ い ねが
私たちは誰もが幸せに生きたいと願っています。

では、私たちが願う「幸せ」の距離的・時間的な範囲はどれくらいなのでしょう？

いま とき じ ぶん じ しん しあわ ついきゅう
今この時の自分自身の幸せを追求することがあります。

み ちか ひと しあわ ねが
身近な人たちとのこれからの幸せを願うことができます。

しょぞく しゅうだん しあわ もと ちから あ ば めん
所属する集団の幸せを求め、力を合わせる場面もあるでしょう。

そして時には、

であ とお ひとびと じ せ だい みらい しあわ ねが
出会うことのない遠い人々や、次世代の未来の幸せを願うこともあるかもしれません。

さまざま ば めん ねが しあわ すこ し や ひろ かんが
様々な場面で願う「幸せ」について、ふだんより少し視野を広げて考えてみましょう。

こう か し じん けん けい はつ きょうざい
2025 甲賀市人権啓発教材

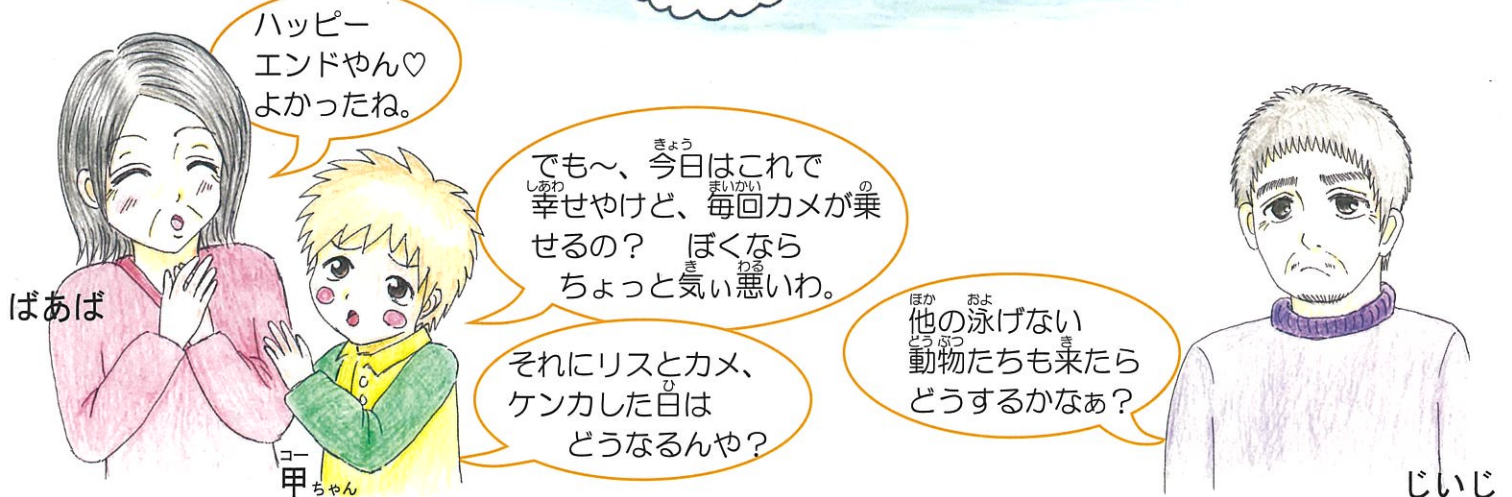
ゆた じん けん ぶん が そう ぞう む
～豊かな人権文化の創造に向けて～

はつ こう こう か し こう か し きょういく い いん かい
発行／甲賀市・甲賀市教育委員会

まん が ばん り
キャラクターイラスト・4コマ漫画：万渥

「今だけ・ここだけ・自分だけ」の幸せを

1. お話をもとに考えましょう。



コ-甲ちゃんは、今日だけじゃないことも考えると心配があるようです。
じいじも、この場面・このメンバー以外の別の状況について心配しています。
いつ誰が来ても楽しく過ごせるようにするには、どうすればいいのでしょうか。
アイデアを出しましょう。

アイデア



「みんなに広がる 持続可能な」幸せに！

2. どちらかエピソードを選んで、話し合ってみましょう。

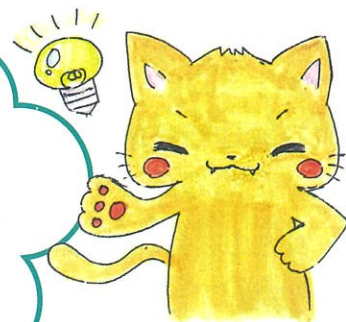
エピソード①

地域に外国人のサントスさん一家が、越してこられました。日本語は小学生のお子さんが片言を話します。別の県にしばらく住んでいたけれど、こちらの習慣は十分にはわからず戸惑っているとのこと。

そこで、日本のくらしに慣れるまでの間、区の役員とゴミ当番は免除し、区の行事への参加もできる範囲での参加とし、強制はしないように配慮することにしました。

そのことをサントスさんに伝えると「アリガトウ」とていねいにお礼を言われました。

その場、その課題に
関わるすべての人が
幸せになる道、
つまり「みんなに広がる
持続可能な」幸せを
探るんや！



エピソード②

女性の地区役員がなかなかふえないといわれている中、私の区では今年、組長を担ってくれる女性が一人出てきたのです。区の運営に多様な声を反映できると、我々役員は大喜びで歓迎し、少しでも彼女が活動しやすいように便宜を図ろうということになりました。

まず始めに、それまで 19 時から始めていた組長会を、夕食の準備時間を外して 20 時からとしました。役員の懇親会も居酒屋ではなくカフェにしようという案も出ていて、彼女は喜んでくれています。今後もっと女性の役員がふえてくるといいなと思います。

(1) 甲ちゃん達のような疑問を出しましょう。

- ・今回はこれで幸せやけど・・・
- ・それに・・・ならどうなるん？
- ・他にも・・・なら、どうする？

など、考えてみましょう。

(2) 「みんなに広がる持続可能な」幸せにするためのアイデアをいっぱい出しましょう。

アイデア

アイデアをいっぱい出すために

× NGセリフ

「それ、あかのちゃん」(批判しない)

「そんな無理やろ」(自由な発想を歓迎)

◎ おすすめセリフ

「もっとない？他には？」(質より量)

「それええやん。さっきのと意見と
合わせたらさらにいいね」(統合と改良)

参考：(ブレンストーミングの4原則)



しょうがい の こじん 「個人モデル」と「社会モデル」

「障がいは個人にあるのであって、個人のくふうや努力、治療などによって解決すべきものである」という考え方を「障がいの個人モデル」といいます。それに対して、「障がいは社会の側にある障壁のことであり、社会の側のくふうや努力、改革などによって解決すべきものである」という考え方を「障がいの社会モデル」といいます。

例えば右の図では、車いすの人は階段を上がり2階へ行くことができません。それを「大変だね」「がんばって！」「手伝いましょうか」とするのが「個人モデル」の考え方です。

「社会モデル」では、個人の努力や周囲の手助けの前に、「この建物の構造が問題だ」と考え、エレベーターを設置するなど、環境の調整をめざします。そもそも階段がなければだれも2階に上ることはできません。階段は、実は既に存在する「配慮」です。

その「配慮」の対象を広げ、誰一人取り残さないようにするのが「社会モデル」です。

1 ページの例でいえば、カメの思いやりに頼るのではなく、橋をかける・渡し船を置くなどリスが自分で島に渡れるようにハード面を整えましょうという考え方です。



ふりかえり 「社会モデル」を学んだ1さんたちは、2 ページのエピソードをもう一度考えてみました。

1. 外国人家族のお話

「日本のくらしに慣れるまでの間」って、どのくらい？ そうしている間に、もっと外国人家族が増えるかもしれない。

行事に「強制はしないように配慮」っていうけど、誘わないことの理由になってしまわないかな。

外国人家族の側にだけ変わってもらおうとするんじゃないくて、私たちは何を変えることができるか考えよう！たとえば、サントスさんと話し合って、その国の文化や習慣を皆で学べる行事をやるとか、お互いの知識と経験を交流できるようにしてみるのはいかがでしょうか。

かんきょう やしくみに
しょうてん
焦点をあてて、
しゃかい
よりよい社会に変えて
いこうってこと
なんだにゃ！



2. 女性地区役員のお話

この女性が喜んでいるのは、今回の配慮が彼女のニーズに合うたんやね。でも、ちょっと待って。彼女は、夕食の準備も役員の仕事も両方しなくては行けないのかな？

そもそも、女性は家族に迷惑をかけない範囲でしか外での活動はできないという思い込みが、知らず知らずに役職から女性を排除してきたのかもしれないし……。

まず、それぞれの家の性別役割分担を見直すことから始めることが案外大事かもしれないなあ。その先に、女性役員が活躍できる地域社会が見えるような気がする。

みんなに広がる持続可能な幸せ

「社会モデル」の考え方は、あらゆる人権課題に転用できます。以下に挙げたのは、この考え方を活かした取り組みです。それがどのようなもので、ここからどう進めることができるのか、ともに考えましょう。

女性管理職を増やす ためのクォータ制

女性

女性の社会参加推進に向けた取り組みの一つ。政治の場や企業で、役職に就く女性の割合を決め、人数格差の是正を進める制度。北欧で始まり、現在世界の60%以上の国や地域で導入されています。



こどもアドボカシーの 取り組み

こども

「子どもの権利条約」や「こども基本法」に明記されたこどもの意見表明権ですが、その「意見」を、遊びや身振り・表情や創作物から読み解き、社会に届ける「擁護・代弁」の取り組みを指します。



高齢者の 権利擁護の推進

高齢者

高齢になってもその人らしく、住み慣れた地域で安心して、権利が保障された暮らしが実現することめざしています。高齢者の権利侵害には、相談対応や成年後見制度*の利用支援が行われています。

*判断能力が下がってしまった人の利益を守るために後見人をつけるしくみ



手話言語及び情報・

コミュニケーション促進条例

障がいの
ある人

甲賀市では、令和3年(2021年)に施行しました。手話が言語であることを明記し、手話をはじめ、様々な言語やコミュニケーション手段を使ってどのような特性のある人ともお互いの気持ちを理解しあう機会を確保することを社会に課しています。



本人通知制度

部落差別

甲賀市では平成25年(2013年)から実施しています。戸籍・住民票などを本人以外に交付した事実を、事前に登録した本人に郵送で知らせる制度です。個人情報等の不正な取り扱いを抑止し、不必要な身元調査などの防止につながります。



多文化共生施策

外国人

令和6年(2024年)に甲賀市多文化共生センターがオープンし、①外国人相談②日本語教室③外国にルーツを持つこどもの学習支援を中心に取り組みを進めています。キーパーソンとなる外国人市民とも連携し、誰もが住み続けたいくなるまちづくりをめざします。



パートナーシップ・

ファミリーシップ宣誓制度

性的マイ
ノリティ

令和6年(2024年)6月に甲賀市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を導入しました。一方または双方が性的マイノリティであるお二人が、人生のパートナーとして協力し合うことを宣誓し、市が二人の関係を公的に証明する制度です。



これ知っとこ! ~「人権モデル」

「人権モデル」は「社会モデル」が進化して生まれた、より新しい概念です。

「人権モデル」では、「障害=社会的障壁」がある状態は人権侵害にあたると捉え、社会の側が障がい者の権利を尊重し、その声をしっかりと聴き、対話しながらくふうや努力・改革をする必要性を説きます。

1 ページの例でいえば、リス本人の尊厳を大切に、その思いも聴きながら環境の調整するのが「人権モデル」です。リスを「いまだ配慮されていない存在」と捉え、その存在や声を活かし、今は配慮が必要ない人たちが力を合わせ、誰にとってもやさしい環境をめざします。それは、「みんなに広がる持続可能な幸せ」につながり、未来への安心を育みます。

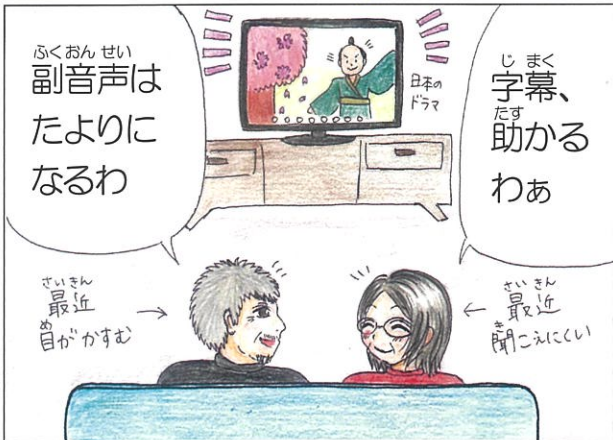
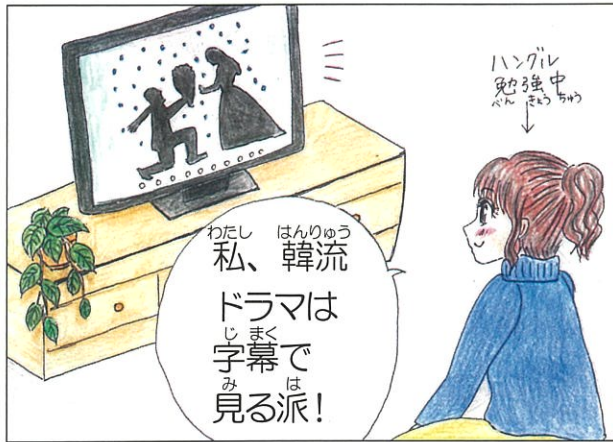


かふーし！ 申ちゃん♡

『選べる幸せ♡』の巻

かふーし：沖縄のことは。「幸せ」とか

「ありがとう」の意味。語源は「果報」



DE&I はダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの頭文字をとった言葉です。これまで企業が取り組んできたダイバーシティ（多様性）&インクルージョン（包摂性）に公平を表す Equity（エクイティ）という考えが足された概念です。

多様な人が生きる社会の中で、それぞれの人に合った対応があることで、どの人もいきいきと仕事や生活ができる考え方とされています。

語学を勉強中だから字幕でドラマや映画を観たい人、字を読むのが不得手な人、耳が聞こえにくい（聞こえない）人、目が見えにくい（見えない）人など、その人によってニーズは様々です。多様なニーズに対応できる社会、自分に合った方法を選べる社会では、人を能力や障がいの有無で排除せず、同じ空間、同じ時間、同じものを共有できます。それは一人ひとりがもつ権利であり、幸せにもつながっていくのではないのでしょうか。

甲賀市人権啓発教材バックナンバー紹介

「人権尊重を しているから しているへ」

「小さな親切 思いやり には 大きなお世話 思い込みが隠れている!？」



何気ない会話例をもとに考え合う教材です。立場の違いによって、社会や出来事の見え方は違います。自分の無意識の思い込みに気づき、決めつけないで対話することの大切さを学ぶことができます。（2023 年度作成）



「そのとき ドアはひらいた？ もれなく すべての人に？」



人生のときどきに現れる「ドア」について考え合う教材です。自分を起点にしつつ、広く社会にある課題にも目を向けることで、社会の不正に気づき、行動することの大切さを学ぶことができます。（2024 年度作成）

